



利根中央病院だより

第58号

2021年 新年号

きらめき



発行責任者 利根中央病院 院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL：0278-22-4321（代表）
FAX：0278-22-4393
URL：https://www.tonehoken.or.jp/

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。
皆様と御一緒に新春を迎えることができましたことを
お慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の年であったと言え
るほど、各方面に多大な影響がありました。「大切な人
の最期にも会えなかった年」として後世まで言い伝えら
れることでしょう。

いろいろな困難の中で、医療の危うさと有難さを改め
て実感した一年でもあったと思います。また、感染症に
対する共闘を通じて、組合員の皆様、医師会の皆様、行

院長 大塚 隆幸



政の皆様との絆も深まりました。

今年は丑年です。牛の歩みはゆっくりで
すが、その足取りは堂々として誠実であり、不退転の意
思が込められています。牛の雄姿にあやかり、私たちも
国難、世界難といえる現状に立ち向かう決意を新たにし
たいと思います。

今年が皆様にとって幸多い年でありませう、お祈り
申し上げます。

丑年の年男・年女からご挨拶

総合支援センター 副看護部長 藤林 信子



新年あけましておめでとうございます。
“神に近い”とされる牛が干支というこ
とならば、やはり、縁起の良い年になることを期待した
いです。

春から新たな環境での生活となります。コロナ禍では
ありますが、知恵と工夫で私生活や仕事を充実させてい
きたいと思います。

整形外科 医長 工藤 千佳



新年のお慶びを申し上げます。新型コ
ロウイルスの流行など困難な状況の中、地
域の皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。

本年も気持ちを新たに、地域の皆様の健康に貢献でき
るよう仕事にとり組んでいきたいと思ひます。変わらぬ
ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

検査室 臨床検査技師 齋藤 奏太



新年明けましておめでとうございます。
今年で入職して4年目になります。

皆様の新しい1年が幸せいっぱい
にぎやかな年になりますように心からお祈り
申し上げます。

最高の笑顔でがんばりませう。ウッシッシ。

リハビリテーション室 理学療法士 志賀 達也



新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひします。

振り返ればもう4度目の年男。皆様に支えられてずい
ぶん遠くまで来させてもらえたように感じます。

旧年中は、まさかまさかのコロナ禍で常に不安と隣り
合わせの一年でした。

そんな中、煉獄さんの生きざま（映画）に10歳、6
歳の息子と3人、映画館で嗚咽、号泣したことがよい思
い出です。

皆様にとって良い一年になることを願ひておひます。

脳神経外科の体制について



脳神経外科 科長 河内 英行

脳神経外科は現在群馬大学脳神経外科からの非常勤医師の協力のもと、常勤医師1名で診療を行っております。

外来については、月・火・木・金曜日を河内が担当し、水曜日を群馬大学脳神経外科講師の清水医師が担当しております。土曜日については、群馬大学脳神経外科の助教以上が担当しており、すべての曜日で日本脳神経外科学会認定の専門医が診療を行っております。

入院患者様については、すべて河内が主治医を務めておりますが、不在時には群馬大学の非常勤医師と連携し、診療を行っております。

また、クモ膜下出血や超急性期脳卒中など、緊急で手術などが必要な場合、群馬大学脳神経外科と連

携し、転院決定から一時間以内の転院搬送手順などを作成し、患者様の生命・機能予後を最大限守れるよう努めております。

当院の特徴として、多くの生活習慣病を抱える患者様が多く、脳卒中の危険性が高い患者様が多い印象です。今後も、内科・糖尿病内科・循環器内科・総合診療科とともに、高血圧・糖尿病・高コレステロール血症を改善し、脳卒中の発症予防に貢献したいと考えております。

ストレスなどが原因の緊張性頭痛・若年女性に多い片頭痛などの頭痛や、片側顔面けいれんに対するボツリヌス治療なども行っておりますので、ご心配な点やお困りな点があれば、脳神経外科にお気軽にご相談ください。



前列左：清水 Dr、右：河内 Dr

摂食嚥下支援チームの紹介



担当看護師長 小野里 千春

2020年度診療報酬改定では、摂食嚥下障害を有する患者に対して、摂食嚥下に係る専門知識を有した多職種チームによる効果的な介入が行われ、経口摂取の回復が促進されるよう「摂食嚥下支援加算」の算定要件および評価の点で大幅な見直しが行われました。

摂食嚥下支援加算を算定するには、専任の医師、看護師、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、理学療法士から構成される摂食嚥下機能回復支援に係るチーム（摂食嚥下支援チーム）の設置が必要とされ、内視鏡下嚥下機能検査または嚥下造影の結果に基づいて摂食嚥下支援計画書を作成、またはすでに摂食機能療法に係る計画書が作成されている場合には週1回以上のカンファレンスで検討や見直しが必須と

なっています。

当院では、これまで口腔ケアチームを中心に口腔管理を担ってきましたが協働し、10月に摂食嚥下支援チームを立ち上げ、摂食嚥下機能の評価、治療、訓練を行うことで食べる機能の回復や誤嚥性肺炎の予防、QOLの向上を目的に活動しています。各科入院時にスクリーニングを行い、摂食嚥下障害の有無を判断。その後詳細な評価を行うため、嚥下内視鏡検査（VE）や嚥下造影検査（VF）を行い、週1回の多職種カンファレンスにより嚥下摂取状況、栄養摂取量、調製食、薬剤による影響など検討し摂食嚥下支援計画書の作成や見直しを行っています。また病棟ラウンドにて口腔ケアに難渋している症例を挙げケア方法を検討、指導しています。

現在チームとして3か月が経過し多職種連携の難しさはありますが学びも多く、口から食べることの大切さがチーム内で共有できているため、各科の摂食嚥下支援ナースを通し病棟へ、そして患者家族指導へチーム活動を拡大していきたいと思えます。



第21回医療講演 & 懇談会

2020年11月7日（土）

14：00～15：00

講演「よくある上肢の痛み、しびれについて」

講師：細川 高史
（整形外科 副科長）



沼田利根医師会症例検討会

2020年11月24日（火）19：00～20：00

『整形外科 日常診療でよくみる上肢の痛み、しびれ』

整形外科 副科長：細川 高史

『プライマリ・ケアでの非定型病原体による気道感染症の疫学調査と医師の臨床予測に関する研究』

総合診療科 科長：鈴木 諭



災害訓練

2020年11月14日（土）

13：30～16：00



きらめき トピックス

西武ライオンズ高橋光成投手 表敬訪問

12月14日、埼玉西武ライオンズで活躍する沼田市出身の高橋光成投手が、地元でコロナ対応に奮闘している医療従事者を激励するため、当院を表敬訪問されました。

昨シーズン激闘した試合ユニホームやサインボール、高橋選手オリジナルTシャツやマスク・消毒液等の寄贈があり、「皆さんが少しでも笑顔になっていただければ」と集まった職員との記念撮影にも応じてくれました。高橋選手との写真撮影にみな笑顔がこぼれ、私たちもまた頑張ろうという気持ちが湧いたひと時でした。



関原副院長より
「地域を代表するスポーツ選手からお気持ちをいただき、職員の励みになります」とお礼をお伝えしました。

